

# 健康支援

## 1 概要及び実施状況

### 1] 特定保健指導

特定保健指導が開始された平成20年4月から、標準的な健診・保健指導プログラムに基づき、実施主体である医療保険者から委託を受け、「積極的支援」及び「動機付け支援」を実施している。

令和3年度は24団体から委託を受け、積極的支援483人、動機付け支援1,016人、動機付け支援相当3人、合わせて1,502人の特定保健指導を実施した。また、令和3年度から新たに健診当日の初回面接の分割実施を導入し、国保以外1団体の43人（積極的支援8人、動機付け支援35人、健診当日の分割実施①の時点を実績として計上）に実施した。

表1 特定保健指導実施状況

	実施者数	終了者数				途中終了者数				初回未完了者数 <sup>*4</sup> (%)	
		評価終了(%)	督促終了 <sup>*1</sup> (%)	脱落 <sup>*2</sup> (%)	資格喪失 <sup>*3</sup> (%)	脱落 <sup>*2</sup> (%)	資格喪失 <sup>*3</sup> (%)	者数 <sup>*4</sup> (%)	者数 <sup>*4</sup> (%)		
積極的支援	386	325	84.2	1	0.3	55	14.2	5	1.3	0	0.0
動機付け支援相当	3	3	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
動機付け支援	1,016	875	86.1	70	6.9	56	5.5	5	0.5	8	0.8
合計	1,508	1,203	80.4	71	4.7	111	7.3	10	0.7	8	0.5
国保以外	43	43	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	1,551	1,246	80.3	71	4.5	111	7.1	10	0.6	8	0.5

\*<sup>1</sup>督促終了とは、初回面接から半年後の終了時評価が実施出来なかった者

\*<sup>2</sup>脱落とは、最終利用日から未利用のまま2ヶ月経過した者や支援途中で服薬開始となった者等

\*<sup>3</sup>資格喪失とは、退職等により保険が変更になった者

\*<sup>4</sup>初回未完了者とは、健診当日に初回面接の分割実施①を実施、後日電話で②行動計画作成を完了できなかった者

表2-1 積極的支援実施状況

	実施者数	終了者数				途中終了者数			
		評価終了(%)	督促終了 <sup>*1</sup> (%)	脱落 <sup>*2</sup> (%)	資格喪失 <sup>*3</sup> (%)	脱落 <sup>*2</sup> (%)	資格喪失 <sup>*3</sup> (%)		
国保	122	107	87.7	1	0.8	11	9.0	1	0.8
国保以外	353	331	93.8	0	0.0	33	9.4	5	1.4
合計	475	438	92.2	1	0.2	44	9.3	6	1.3

表2-2 積極的支援実施状況（初回分割実施）

	実施者数	終了者数				途中終了者数				初回未完了者数 <sup>*4</sup> (%)	
		評価終了(%)	督促終了 <sup>*1</sup> (%)	脱落 <sup>*2</sup> (%)	資格喪失 <sup>*3</sup> (%)	脱落 <sup>*2</sup> (%)	資格喪失 <sup>*3</sup> (%)	者数 <sup>*4</sup> (%)	者数 <sup>*4</sup> (%)		
国保以外	8	8	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	8	8	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

表3 動機付け支援相当実施状況

	実施者数	終了者数				途中終了者数			
		評価終了(%)	督促終了 <sup>1</sup> (%)	脱落 <sup>2</sup> (%)	資格喪失 <sup>3</sup> (%)				
国保男	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
国保以外男	2	1	50.0	1	50.0	0	0.0	0	0.0
	1	0	0.0	1	100.0	0	0.0	0	0.0
総数	3	1	33.3	2	66.7	0	0.0	0	0.0

表4-1 動機付け支援実施状況

	実施者数	終了者数				途中終了者数			
		評価終了(%)	督促終了 <sup>1</sup> (%)	脱落 <sup>2</sup> (%)	資格喪失 <sup>3</sup> (%)				
国保男	262	243	92.7	18	6.9	1	0.4	0	0.0
	159	146	91.8	12	7.5	1	0.6	0	0.0
国保以外男	358	306	85.5	52	14.5	0	0.0	0	0.0
	202	163	80.7	39	19.3	0	0.0	0	0.0
総数	981	858	87.5	121	12.3	2	0.2	0	0.0

表4-2 動機付け支援実施状況（初回分割実施）

	実施者数	終了者数				途中終了者数				初回未完了者数 <sup>4</sup> (%)	
		評価終了(%)	督促終了 <sup>1</sup> (%)	脱落 <sup>2</sup> (%)	資格喪失 <sup>3</sup> (%)	者数	(%)				
国保以外男	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	35	21	60.0	2	5.7	4	11.4	0	0.0	8	22.9
総数	35	21	60.0	2	5.7	4	11.4	0	0.0	8	22.9

## 2] 専門職の派遣、健康教育等の受託

市町等からの委託を受け、専門職の派遣を7団体に対して117日間実施した。また、健康教育は3団体に対して6日間実施した。

表5 実施状況

	実施団体数	実施日数	職種別派遣人数			
			保健師	管理栄養士	健康運動指導士	
専門職の派遣	地域	5	93	91	4	0
	職域	2	24	4	2	20
	学域	0	0	0	0	0
健康教育の受託	地域	0	0	0	0	0
	職域	3	6	7	4	4
	学域	0	0	0	0	0
総数	10	123	102	10	24	

### 3] 健診データ等の統計・解析の実施

地域・職域診断サービスシステムを用いた健診結果報告書を20団体に提供した。また、そのうち9団体に対して個別に結果説明を実施した。

表6 地域・職域診断サービス健診結果報告書件数

	作成団体数	結果説明実施団体数
地 域	14	8
職 域	6	1
総 数	20	9

### 4] 至急精検対象者への受診勧奨

集団健診受診後、早急に精密検査が必要な方に対し、受診団体の保健師や衛生管理者等と連絡体制をとっている。令和3年度は延べ652人が対象となり、そのうちがん検診では220人が対象となった。

表7 至急精検連絡件数

	胃がん	胸部	子宮頸がん	乳がん	前立腺がん	その他*	総 数
地 域	24	53	3	95	9	159	343
職 域	1	26	0	8	0	91	126
学 域	-	1	-	-	-	182	183
総 数	25	80	3	103	9	432	652

\*血圧・心電図・血液など（学域健診は腎臓検診を含む）

### 5] 発見がん追跡調査

令和2年度に集団健診や人間ドックを受け、精密検査が必要になった受診者のうち、市町や医療機関から送付された精密検査結果連絡票に、「がん」または「がんの疑い」と記載された930件について医療機関に調査票を送付し、確定診断の状況（病理、組織、形態学的）を調査した。（『発見がん追跡調査結果』再掲）

表8 集団検診

	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん	前立腺がん	総 数
調査件数	55	87	112	50	132	432	868
回収件数	51	85	103	49	131	420	839
回収率(%)	(92.7)	(97.7)	(92.0)	(98.0)	(99.2)	(97.2)	(96.1)

表9 人間ドック

	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん	前立腺がん	腹部超音波	食道がん	甲状腺がん	総 数
調査件数	8	4	5	2	13	14	11	0	0	57
回収件数	8	4	5	2	12	13	10	-	-	54
回収率(%)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(92.3)	(92.9)	(90.9)	(-)	(-)	(96.6)

## 6] 健康相談センター

令和3年度は136人から145件の相談があった。令和2年度同様、人間ドックや集団健診後の検査所見の説明や医療機関受診に関する相談が約6割を占めていた。

表10 相談内容と件数

	件数
検査所見の説明	38
医療機関紹介	51
検査内容	2
生活習慣アドバイス	9
その他	45
総数	145

## 7] 放射線業務従事者の健康影響に関する疫学研究への協力

厚生労働省では福島第一原子力発電所において緊急作業に従事した作業員の長期にわたる健康影響を明らかにすることを目的に、平成26年度から約30年間にわたる疫学的研究を実施している。

当事業団では、平成27年度から当該研究に協力し、県内対象者に対する健診事業を行っており、令和3年度は30名の健康診査を実施した。